

# しのみや

杉並区立四宮小学校  
平成23年11月30日

## 「来た時よりも美しく」 四宮小の合言葉

校長 小山 浩

「来た時よりも美しく？ 山に行ったときにゴミを拾って帰ることでですか？」なんて言う声も聞こえてきそうですが、もう少し深い意味と効用があります。四宮小では12月から学校美化キャンペーンをします。ご協力をお願いいたします。

一つ目の効用は、公共のものや普段と違う体験を大切にすることを育てることです。この言葉は、家では使いません。山や公園や公共の施設に行ったときに使われます。学校ももちろん公共のもので、みんなのものを大切に使う気持ちが必要です。

また、自分の家と学校との違いを意識することによって、登校することが、それ自体、一つの道場に通うような意識を持てたらよいと思います。廊下を歩く時にキリッと引き締まった感覚がもてるぐらいになったらよいと考えています。

二つ目は、心のゆとりということ。このような気持ちを持てるようであれば、授業も学校生活もうまくいくに違いありません。

忙しい生活をしていると、とかく机の上も山になりがちです。しかし、まずはきれいにすることという気持ちをもてば、心にゆとりが生まれてくるのではないのでしょうか。きれいで美しい学校であれば、勉強のやる気も出ます。

三つ目は、他者に対する愛情です。自分以外の人の役に立つことです。

廊下のゴミを拾ったとしましょう。ほかの人が見ているか見えていなくても、きっと自分は良いことをしたという気持ちをもつことができるでしょう。そしてうまくいけば学校を大切にしているという気持ちももてます。人の役に立つことの素

晴らしさを体験させてあげたいと思うのです。

具体的にはどのようなことをすればよいのでしょうか。まず、ゴミ拾いです。一人が1日に1つ拾えば、695個拾うことができます。1年で約14万のゴミを拾うことができます。次にはハンカチをもってトイレに入ることです。どうしてもトイレの出口が汚くなります。しっかりと手で拭いてから出てきてほしいのです。そのほかには、掲示物をきれいにしたり、靴箱や机の中をきれいにしたりすることがあります。

保護者・地域の皆様にもお願いがあります。学校においでになったときには一つでよいのでゴミを拾ってください。ゴミ箱は西階段の下にあります（最寄りの教室で聞いていただいてもかまいません）。

そのようにしていただけたら、子供たちが学校をきれいにしよう、学校を大切にしようという気持ちもさらに育ってくると思います。その輪が、在校生に、卒業生に、保護者・地域に広がれば、四宮小学校を大切に思う気持ちが高まります。そのことがよい学校よい地域をつくることにつながります。

先日行われました展覧会には多数ご参観いただきありがとうございました。作品はいかがでしたでしょうか。今後とも学校に気軽においでいただければと思います。

少し早いですが、今年1年大変お世話になりました。皆様方にとって来年がさらに良い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

### 12月の生活目標

あとかたづけをしっかりとしよう。

- ・使った道具は、もとの場所にきちんともどそう。
- ・遊び道具は、きちんとかたづけよう。

学習にはえんぴつ・消しゴム・定規・習字セットなど多くの道具（用具）を使います。きちんとそろっていると活動に落ち着いて取り組めるだけでなく、意欲的になり、学習効果が高まります。普段から片付ける習慣が大切なことは言うまでもありません。

そのためにはいつ、どこへどのように片付けるの

かがはっきりしている必要があります。片付けることは、物を大切にすることを育てることになります。

また、共有で使うものについては、次に使う人を思いやることにもなります。心を育てるためにも片付けを習慣化していきたいものです。

#### 【お願い】

下校後、学校に忘れ物をして、取りに戻ることはできません。やむを得ず、取りに来る場合、必ず保護者と一緒に来ようお願いします。

(生活指導部)